

平成23年2月8日

保護者の皆様 地域の皆様

仙台市立福室小学校
校長 山崎 茂

平成22年度 学校評価（保護者・地域アンケート）集計結果について

立春の候、保護者の皆様、地域の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、日ごろより本校の教育活動に際しましては、心温かい励ましやご協力を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、過日、皆様にお願ひしました標記アンケートでは、学校教育活動改善に向けた貴重なご意見やご要望をいただきまして、誠にありがとうございました。

この度、アンケート結果の分析及び考察、対応の在り方についての処理が終了いたしましたので、結果をご報告させていただきます。

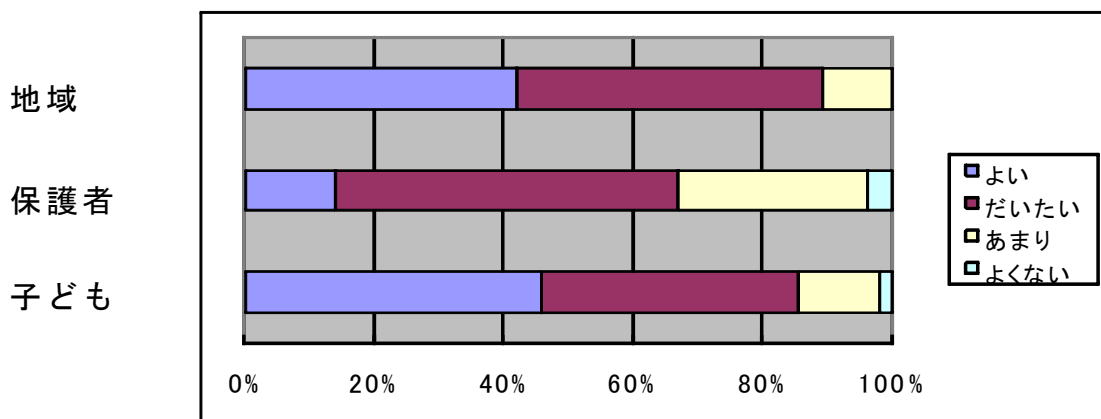
今回の学校評価におきましては、特に評価が低く問題があると思われた次の点に焦点を絞り公表いたします。また、課題となった項目につきましては、学校だけの重点目標としてではなく、保護者の皆様との連携を深めた「平成23年度のPTAの重点目標」としても取り組んでいきたいと考えています。よろしくお願ひいたします。

- アンケート結果から今後の課題として取り組んでいく項目
 - 1 「あいさつ」「言葉遣い」について
 - 2 「放課後の生活」（約束を守る、安全に生活をする）について
- 「学校生活」や「授業について」
- 平成22年度学校評議員・学校評価委員の皆様よりご意見をいただいた事項

なお、各項目においての個別に回答を必要とするものにつきましては、学年・学級担任より回答をいたしますので、ご了承ください。

各項目の結果につきましては、本校ホームページにも掲載いたします。また、今後も保護者や地域の皆様の声に真摯に耳を傾け、さらに連携を深めながら地域に根ざした学校づくりを進めて参る所存ですので、いっそうのご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

「あいさつ」「言葉遣い」について
「あいさつ運動を家庭や地域にも広げます」
【あいさつについてアンケート結果】



○本年度の保護者アンケートでは、「子どもたちのあいさつや言葉遣い」について、良いほうだとする意見が67%となりましたが、21年度の56% 22年度の62%に比べ少しずつですが、評価が上がってきています。今後の課題として、友達同士や地域の中でのあいさつが十分でないことが挙げられます。

「言葉遣い」については、児童の自己評価に比べ保護者・教職員でも半数以上がまだまだ課題であるととらえています。

来年度は学校だけでなく保護者の皆様の協力をいただきながら引き続き重点努力事項として「あいさつと言葉遣いについて」取り組んでいきます。

言葉遣いについては、相手の気持ちを考えたり、その言葉のもつ意味を考えたりすることができるように具体的に示して指導をしていきます。

学校では、次のように取り組んでいきます。

○「あいさつ」については、昨年度から取り組んだ「あいさつ運動」の成果があがってきています。平成23年度も心の健全は、「あいさつや言葉遣いから」と考え、引き続き次のように取り組んでいきます。

①次年度も学校全体で「あいさつ運動」を展開していきます。

- ・「あいさつ週間」「あいさつ月間」などの取り組み
- ・PTA、地域と連携・協力した「あいさつ運動」の取り組み

②「言葉遣い」については、人が不快に思う言葉や話し方を例に学級指導で重点をおいて指導をしていきます。

- ・学年や学級で具体的な「ていねいな話し方や言葉」を掲示したり、「人を傷つける言葉」「乱暴な言葉」について指導したり、道徳の時間や学級活動の時間に取り上げ指導していきます。
- ・家庭や地域・友達同士での会話の中の言葉遣いについても見直させ、家庭への協力をいただきます。

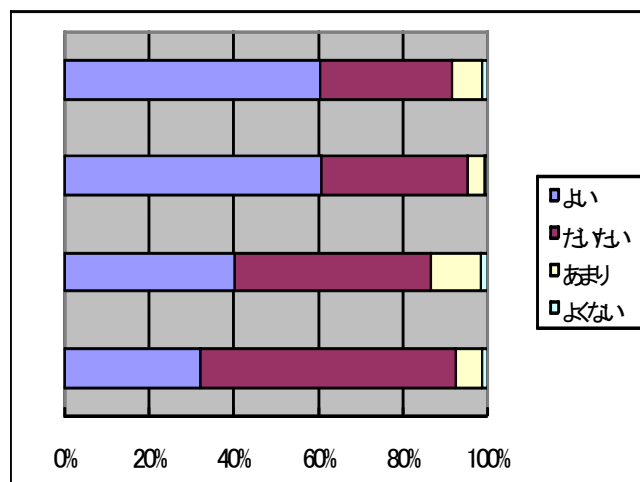
「楽しい学校生活・授業」について
平成23年度も楽しい学校づくりを目指します
【「学校生活は楽しいか」「授業は楽しく分かりやすいか」】

子ども（学校生活は楽しい）

保護者（学校生活を楽しんでいる）

子ども（授業は楽しく分かりやすい）

保護者（楽しく分かりやすい授業をしているか）



○ 「学校生活を楽しんでいるか」についてのアンケート結果では、本年度は「楽しさ」を感じているとの児童の回答が91%を超えました。また保護者の皆様も子どもたちの様子をご覧になり、そのように感じています。

また、「授業が分かりやすいか」の問いでも、児童が87%、保護者の皆様からも93%と高評価をいただきました。

来年度も、すべての子どもたちにとってより学校生活が楽しくなるように、そして楽しく分かりやすい授業となるように努めていきます。

なお、「自分の考えを進んで発表をしているか」との問いの結果では、昨年度の60%から67%とわずかながら増えた結果となりました。来年度も「分かりやすく、子どもたちが意欲をもって進んで発表ができる授業」を目指していきます。

学校では継続して次のように取り組んでいきます。

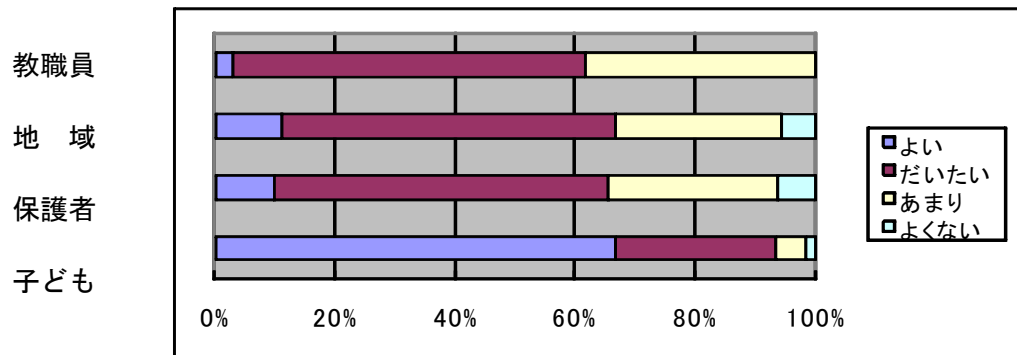
○ 来年度も学校では、基礎学力の定着を目指し、「楽しく分かりやすい授業づくり」と「進んで発表できる子ども」の育成に努めて指導をしていきます。

- ① 朝の会などでも、子どもたちの発表の機会を多く取り入れ、話すことに慣れさせます。
- ② ペア学習・小集団での学習を多く取り入れたり、コンピュータ学習を効果的に取り入れたりして一人一人の発表の機会を増やしていきます。
- ③ 話を聞いてもらう機会を多く設け、それによって認められ自信が付くようにしていきます。
- ④ 「楽しい分かりやすい授業」づくりによって基礎学力の定着を目指します。
 - ・少人数指導やT T指導の充実
 - ・読書活動の推進
 - ・スキル学習の継続
- ⑤ 「家庭学習習慣」の形成を目指し、「本校では学年×10分間」を目標に机に向かうことができるよう、提案しています。宿題だけでなく、自分で読書や他の学習を取り入れるなど、工夫して学習を進めていくことが大切です。ご家庭のご協力をお願いします。

放課後の生活について

「家庭と連携し、ルールを守る子どもの育成に努めます」

【安全に生活しているか】



【自由記述から】

〈帰宅時刻について〉

- 帰宅時刻を守っていない子がいる。（巡視や家庭で声掛けをする）
家庭で話し合いをもち、外で見かけたときも声をかける。

〈交通ルールについて〉

- 自転車の乗り方がひどい。道路に広がって乗っている。
- 自転車の乗り方が悪く、ゲームをしながら乗っている子、左右を確認しないで飛び出している子がいる。
- どれだけ迷惑行為になっているか認識していないのだと思う。具体的に家庭や学校で教える必要がある。

〈放課後の遊び方について〉

- 公園での遊び方が非常に悪い。食べ散らかしやごみのポイ捨て。
- 野球をしてボールが道路に飛び出し危険である。
- 駐車場での遊び等について、家庭でもしっかり注意しないと改善できないだろう。
- 市営住宅やマンションの非常階段で遊んでいる。
 - ・エレベーター内で遊んでいる、大声を出している、階段を走り回っているなど
- コンビニでの買い食いが非常に目立つ。「おごる・おごられる」が日常化してトラブルがでている
- 今回の調査から「ルールを守っている」ことについて子どもたちの意識と大人から見た様子に大きな違いがあることが分かりました。保護者アンケートの自由記述の中でも「子どもたちの放課後の生活について」平成21年度のアンケート調査以上に多くの保護者や地域の皆様からご指摘いただきました。**特に自転車の乗り方が危険である**とのご指摘やその対策についてもご意見をいただきました。

引き続き学校でも朝会や学年・学級で指導を続けてまいります。ご家庭の協力なしでは改善されません。次年度は、さらに、具体的な方策をPTAと連携して取り組んでいきたいと考えています。

ルールを守れるようにご家庭でも厳しくご指導いただくようにご協力をお願いいたします。

〈家庭と連携し、ルールを守る子どもの育成に努めます〉

学校では次のように取り組んでいきます。

- 平成22年度に引き続き朝会や学級指導等での指導のほか、来年度から子どもたちやご家庭でも「ルールを守る」意識を高揚できるように働きかけていきます。
- ① 「よい子のやくそく」を4月には配布し、学級で子どもたちに指導をしていきます。また、ご家庭でも一緒に目を通していただき「やくそく」を守るようにご協力をいただきます。
- ② 長期休業後等に自分の生活を振り返り自己反省をする「生活のチェックシート」をもとにルールを守る大切さを指導し、意識向上を目指します。ご家庭にもチェックシートを見ていただきながらご協力をいただきます。
- ③ 道徳の時間や交通教室の時間に、公園の使い方や自転車の乗り方についての指導を強化していきます。特に自転車の乗り方については、具体的な方策を立て、指導を進めていきます。
- ④ P T Aとの協力のもと、各家庭でのルール遵守の意識高揚に努めます。

その他

☆不審者情報のメール配信について

- 不審者情報のメール配信について
学区内の不審者情報については、携帯電話へのメール配信をいたします。
- ※ ただし、「電話連絡」については、緊急性が高い場合に行いますので、ご了承ください。必ず連絡が欲しい方は、緊急時メール配信登録のご協力をお願いいたします。
- ※ また、不確かな情報（特に声掛けや追跡）については、状況等によって判断しますのでご了承ください。（学校での巡視は行います）

☆学校近くの通学路にある交差点の信号機等設置について

- 毎年のように町内会から要望を出しております。学校としての意見もお話しているところです。なかなか要望通りにいかない事情があるようです。機会をみながら今後とも学校からも要望を出していきたいと考えております。ご家庭でも子どもたちへ横断の際には十分に気をつけて渡るようにお声掛けください。



☆授業参観時等における保護者の皆様のマナーについて

- ご指摘があった携帯電話の使用や車で来校・近隣道路への駐車につきましては、授業参観等の案内でも呼びかけていますが、なかなかなくなる状況です。
「大人がルールを守る」ことが大切です。子どもたちのため「ルールを守ること」へのご協力をお願いいたします。

学校評議員・学校評価委員の皆様からいただいたご意見等

【ご意見をいただいた主なもの】

〈あいさつ・ルールの順守・自転車の乗り方・今後の取組（対応策）について〉

- 学校へ来ると「こんにちは」と元気よくあいさつされた。だいぶあいさつが良くなっていると思う。
- 朝、交通指導で交差点に立っていると、元気よく「おはようございます」と言っている。女子に比べて、男子の声が低く、小さい。
- 学校で、学校付近で、先生に対し、あいさつをよくしているようだ、しかし、そこから離れると、あいさつをしなくなる。
- ボランティアさん、地域の方々に対するあいさつが少ないようだ。保護者、地域と一緒にあいさつ運動を展開したい。
- 学校が「福室小よい子の約束」のポスターを作って重点目標として推進することは、大変よいと思われる。市民センターにも掲示して応援したい。
- 中学生も良いあいさつをする。中学生がよい見本となって、地域全体が盛り上がり良いのでは。町内会としても各家庭に配布して、あいさつ、自転車の乗り方、正しい遊び方、良い言葉づかいができるように協力したい。
- ルールを守ることは大人が見本を示さないといけない。その大人がルールを守らないこともある。社会の約束をみんなで守る活動が必要ではないか。
- 子供が悪いことをしたら、厳しくしかるだけではしつけられない。7割厳しく、3割愛情を持って（褒める、抱きしめるなど）上手に子供に接したい。
- 自転車の乗り方の指導は、（財）仙台・ひと・まち交流財団の活動で無料にて交通安全指導を行っている。利用する方法もある。
- 郵便局後ろの狭い交差点が大変危険である。注意を喚起していかなくてはならない。
- 9月の「ふれ合い交流会」では、小学生、中学生がお年寄りに対して大変良い態度で接し、とても良い活動だった。お互い顔が見える交流があいさつをよくするためにも大切なことだと考える。

○ 学校評議員会・学校評価委員会においてご意見をいただきました。

・ 開催日 平成23年 2月 3日（木） 午後2時より3時30分まで